

2011年5月6日

各 位

太平洋セメント株式会社

### 一部工場からの製品出荷停止及び出荷再開について

標記の件、弊社の埼玉県所在の熊谷工場（熊谷市）ならびに埼玉工場（日高市）は、福島県「県北浄化センター」（国見町。なお新聞等で既に報道されている「県中浄化センター」とは異なります）から下水汚泥を廃棄物として受け入れ、セメント原料として使用しております。

両工場の製品（セメント・固化材）は放射線量を自主的に測定しており問題が無いことを確認しておりますが、昨日、監督官庁である経済産業省より、県北浄化センターの下水汚泥（5月2日採取）の放射性セシウムの量が2,900ベクレル/kgであり、当面出荷を見合わせるよう要請を受けました。

慎重を期すために、急遽本日6日（金）ならびに明日7日（土）は両工場からの出荷を停止することにいたしました。

その後検討いたしました結果、セメント自体の自主測定結果も0.04～0.06マイクロシーベルト/hと震災前後の測定値に変化は無く、健康上の影響を与えるレベルではないことから、5月9日（月）より両工場からの出荷を再開いたします。

ご不便をお掛けしましたお客様にはお詫びを申し上げますとともに、引き続きのご愛顧をお願い申し上げます。

以上